

☒ソフト事業のみ

☐ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和7年度

市町村名	小鹿野町				
提案事業名	小鹿野町出会い創出プロジェクト				
事業期間	令和6年度 ～ 令和6年度				
成果指標	(成果を検証する指標) イベント参加者のマッチング成立率				
	(成果検証の具体的な方法) 参加者に対して事後的にイベントの評価やマッチング状況についてのアンケートを実施する。				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A
	従前値 (令和5年4月時点)	-	目標値 (令和7年2月時点)	参加者の マッチング 成立率 30%	実績値 (令和7年2月時点) 参加者の マッチング 成立率 33%
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)	
	住民への公表状況 及び特記事項				

【事業効果の整理・原因分析】

令和6年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① (仮称) いやし旅出会いde ハッピーin0gano	○	町内の有志団体が主体となり、ターゲット層にあわせた町内の名物を巡るお見合いイベントを企画・実施した。 当初の予定より女性の参加者が少なかったが、1回目に実施したイベントでは1組、2回目には2組が成立し、イベント後に実施したアンケートでは、参加者同士連絡先を交換したという回答もあり、イベント自体の満足度も高かった。そのほか、団体のサポートについても概ね好評であったことから、参加者を後押しし、出会いのきっかけを作り、あわせて町の良さを体験してもらうことができた。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	・ターゲット層に合わせたイベント企画や団体の手厚いサポートにより、町を良さを体験してもらいながら、男女の出会いのきっかけをつくること ができた点。
実施事業について 成果が不十分である点	・ イベント主体団体のSNSやHP、町のHP、チラシの配布等を行いイ ベント実施の周知をしたが、集客のための効果的な周知を図れなかった 点。 ・ 特に女性の応募人数が少なく、男性の方が多かったためイベント後のア ンケートでも参加者から人数比についての指摘があった点。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	・ イベントに合わせた広報ではなく町や団体、イベントへの興味関心を持 ってもらえるよう継続的にSNS等で情報発信を行う。